住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

平成 23 年号

まちづくり応援団 えーる

もくじ

第 24 号
　仁保津特集
第 25 号
　えーる発足２周年記念記事、ひと・もの探訪（BonBread）
第 26 号
　健康ウォーキングで 88 か所巡り、渋川ふれあいの家竣工式特集
第 27 号
　龍雲寺の三十三観音、マリンバとピアノの公演特集
第 28 号
　筑紫歌都子さん顕彰碑完成、津田先生の桜特集
第 29 号
　劇団「わ」、山代和紙と作家たち２０１１特集
第 30 号
　夏採れイチゴ、石英ガラスと漢陽寺、宿入奴特集
第 31 号
　逆井先生の講演会、河村よし子さん個展、鹿野の自然と笹船特集
第 32 号
　アサギマダラ、環境セミナー、飲食店連携特集
第 33 号
　陶芸、アサギマダラ特集
第 34 号
　氷見神社、鹿野の瓦、銀嶺の舞特集
第 35 号
　鹿野中女子バレー、１２月のイベント、鹿野の地名の由来特集
号外 10
　筑紫歌都子さん顕彰碑完成特集
号外 11
　山代和紙と作家たち、奥芝洋介トークライブ特集
号外 12
　竹とうろう設置、山代和紙と作家たち２０１１、夏採れイチゴ特集
号外 13・14
　山口国体特集

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第24号(平成23年1月31日発行)

仁保津を訪ねて……



新年明けましておめでとうございます。

平成２３年最初の「くちコミ」は、鹿野と新南陽、徳地の境界にある地区・仁保津の特集から始めたいと思います！

以前の特集でも仁保津を取り上げたことがありましたが、あの時は残念ながら小学校の廃校、というちょっと切ない話題でした。

今回は、１号まるまる仁保津の魅力、がんばっている姿をご紹介したいと思います。

この地区の魅力、それはいったい何なんでしょうか？

仁保津地区で様々な活動をされている、高橋綾子（たかはし あやこ）さんにお話をうかがってまいりました！

仁保津、がんばってます！

　仁保津地区のために様々な活動を始められたのは、高橋さんが６５歳の頃からだそうです。
　社協のご依頼で様々な活動に関わり始め、現在も老人クラブを始め色々な場所で活躍されているんですよ。
　そんな高橋さんが暮らす仁保津地区には、大きな課題があります。
　それは６５歳以上で、かつ一人暮らしの方が多いという現状です。
　地区によってはほんの数人が暮らすだけになってしまっている地区もあり、厳しい現状が見えてくるように思います。



　しかし、そんな仁保津地区ですが、住んでいる方はとても元気な印象を受けました。
　地区の収入源ということで、皆で草刈り作業を行ったり、お茶つみをしたり、お飾りや豆腐なども作られているそうです。
　また、**休耕田に芋づるを植え、そこにイノシシを囲い込もうか**……なんていうお話もあるそうですよ！

　また、新南陽の和田地区で行われている三作（みつくり）神楽の方々にご協力をいただき、仁保津で行われる「七年祭」を行っている、というお話を聞くこともできました。仁保津と他の地区との交流を感じることができるお話だと思います。



　人口こそ少なくなってしまいましたが、お話を聞いていると**とても結束の固い地区**なんだな、という印象を受けました。皆が助け合って地区の行事に取り組まれ、その助け合いが地区の絆を深めているのかな、と思います！

　仁保津地区のほとんどの方が檀家であるという光雲寺（こううんじ）さんの周辺、仁保津地区で一番開けた場所の写真を２枚掲載させていただきました。
　未来、もっとこの地区がにぎやかになるといいですね！

仁保津小は今？

さて、おととしの９月に発行いたしました、くちコミ８号で紹介した仁保津小学校。
廃校となった現在、すでに校舎は取り壊されてしまい、現在は下の写真にある講堂だけが残っていました。
その講堂ですが、今でも地区のために活用されているんですよ！
今月でいえば、１４日前後に行われるどんど焼きであったり、地区で取り組んでいるお茶摘みの茶葉を乾かすのに使ったり、例年決まって８月１４日の行われる盆踊り会場として使われたり……。
校舎はなくなっても、仁保津小は**今でも地区の色々な活動の拠点となっているんだな**、という印象を受けました！
地区長さんや老人クラブで維持を行っている仁保津小は、まさに地区のみんなが助け合って、必要とされながら維持されているんだな、と思います。

今回のお話を聞くに、地域の行事をはじめ、皆が受け継がれてきた伝統を大事にしているように思いました。
人が少ないがゆえに様々なことがすたれてしまっていますが、産業などで地区を盛り上げ、色々なことが復活していけばいいですね、と高橋さんは話されていました。

地域の行事・伝統を後世に引き継ぎ、守っていくこと。それが皆の願いではないでしょうか、という言葉で、インタビューを締めくくらせていただきました！





講堂前には、どんど焼きの跡があったりもしました。
今度は、こうしたイベントの時にも顔を出させてもらおうかな、と思います♪



粟嶋さまを訪ねて

今回、仁保津地区の取材をするにあたり、以前に話を聞いていました神社、「粟嶋（あわしま）さま」を訪ねてみることにしました！

以前は新平ヶ原（しんぺ が はら）にあったと伝えられている粟嶋さまですが、現在は光雲寺（こううん じ）さんのすぐ下の辺りに小さな社があるんですよ。

鹿野町誌をひもとくと、"雛様"という神様を祭った神社である、という記述がありました。粟嶋さまは婦人病を癒す神様として知られています。何かのときには、この神様に祈ってみてはいかがでしょうか？

坂の途中にある細い道にある小さな社ですが、長い年月であちこちが老朽化しているものの、非常に鮮やかな色彩が目を惹きました。

赤色は割合使われていることが多いように思いますが、**青色の配色**も施された社というのは、他ではなかなか目にすることができない珍しいものだと思います。



社には、のぼりの他に折り紙が飾られているのを見ることもできます。きれいな配色の社に、とても良く似合っているような気がしました。

神社と折り紙、素敵な取り合わせですね。

ちなみに、４月２８日と１１月１８日には例祭が開かれているそうです。何かの折に、ちょっと足を運んでみてはいかがですか？

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 24 号～（平成 23 年 1 月 31 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第25号(平成23年2月28日発行)

皆様のおかげです、2周年♪

２年目の主な活動

平成２２年４月
「山代和紙と作家たち２０１０」
鹿野の伝統工芸品「山代和紙」を利用した作品展です。のべ**６００人以上**の方がご来場され、山代和紙作品をご覧になられていました！



平成２２年８月
「きんさい！　鹿野」
廃校となった大潮小学校の木造校舎を皆様にご紹介しました。
懐かしいと言われていた方、木造は初めて見たという方など、たくさんの方に大潮小をご紹介できたと思います！



このくちコミ２５号をもちまして、ついに町づくり応援団"えーる"は２周年を迎えることとなりました！

気がつけばこれから３年目が始まる、そんなところまでやってこれたのも、皆様からいろいろなお話を聞かせていただいたり、がんばっている人の姿を見ながら、こちらも元気付けられてきたからだと思います。
わたしたちの力だけでここまできたわけではなく、**皆様に支えられての２周年**なんだなとしみじみ感じます。

この３年目も、素晴らしい鹿野を発信できるよう、がんばっていきたいと思います！

3年目も、がんばっている人に"えーる"を送ります！

一緒に鹿野を盛り上げましょう！
募集します、えーるにエールをおくるひと

皆さんに支えられ、町づくり応援団"えーる"も３年目を迎えることとなりました！　これからも鹿野のいろいろながんばっている人をご紹介していくべく、がんばってまいります。
とは言っても、"えーる"の力だけでは限界があります。
そこで、３つのキーワードのもとで皆さんに力を貸してもらえればと思います！

情報

くちコミに載せてほしいニュースや、こういうがんばっている人がいるんだよ、という情報をお寄せください！

協力

今年もえーるでは色々な催しを考えています。
一緒に催しものを盛り上げてみませんか？

意見

こうしたらもっとよくなるのに、という考えや、こんなコーナーがあったらもっとおもしろくなるんじゃないかな？　といったご意見があればどんどんお寄せください！

みんなの力を合わせて、よりよい鹿野をつくっていきましょう！



皆様の情報提供、ご支援で、もっとくちコミをおもしろくしてみませんか！？

ご意見・情報提供など、お待ちしております♪

ひと・もの探訪

心をつなぐパンの店　～Bon Bread～

皆さんは、山村広場のすぐそばに小さなお店があるのをご存知ですか？
このお店が、今回取材をさせていただきました　**パン工房"Bon Bread（ボン ブレッド）"**さんなんです。

おいしいパンを購入しに行きながら、店主の野村貞江（のむら　さだえ）さんから色々なお話を聞かせていただくことができました！
パンを作り始めて今年で**１２年目**の野村さん。もうお店に通われていてご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

初めて１０年ぐらいはお店の事でお忙しくされていたとのことですが、最近になって**地域のために何かができたら**……と思われるようになってこられたそうです。

実は、すでに徳山の若いお母さん方にお願いされて、**パンと、簡単で時間のかからない料理の教室**を開かれたりもされているんですよ！
そんな野村さんに、今温めているお話をいただいてまいりました。

それは、**「若者たちの出会いのきっかけになるような、パン教室」**です！
出会い、とは言っても、いわゆる"婚活"とはちょっと違うんです。



婚活のように大きな集まりではなくて、**少人数で集まってパンを作りながら、気軽な感じで**触れ合える場所を作れたら、と言われていました。
パンを作るという交流を通して**教室を離れても付き合えるグループができたらいいな**、と考えられているんですよ。
もしそういう機会があればやってみたいな、という夢を語っていただきました♪

お店に置かれているパンにもこだわりが感じられます。
もともとお店を始めたきっかけはパンを作るのが好きだったから。
作られるパンは、国産・減農薬の小麦を使われているそうです！
わたしも原稿を作りながら食べましたが、とてもおいしいんですよ♪
是非、買ってみてくださいね。





ちなみに、店内にはちょっと腰を下ろせるスペースもあるんですよ。
パンを買うだけではなく、そのスペースでちょっと休みながら、お友達の方とお話をして時間をすごすこともできます。

なんとなく忙しい毎日ですけれど、時にはパンのいい香りがするお店の中でゆっくりとするのもいいかもしれませんね！



山村広場のすぐ近く、合ノ川・金峰へ抜ける道の近くにあるこの看板が目印です♪
お店に入る道はちょっと狭いので、お車での来店にはお気をつけくださいませ。
お問合せは、

0834-68-4005

までどうぞ！

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 25 号～（平成 23 年 2 月 28 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第26号(平成23年3月30日発行)

健康ウォーキングで８８ヶ所巡礼

寒くなったり暖かくなったり、なかなか気候が落ち着かない毎日ですが、皆様はお元気ですごされていますか？　今月号のくちコミでは、３月の連休に行われた二つのイベントについてご紹介したいと思います！

まず最初は、**２０日に行われた「鹿野健康ウォーキング」**についてです。
これは鹿野に伝わる８８ヶ所の札所を巡礼しながら、体に良いウォーキングをしていこうをしていこう、という企画になります。
８８ヶ所と言えば四国が有名ですが、鹿野にも「８８ヶ所」があるんですね！
あいにくの雨の中でしたが、たくさんの方が参加され、バスと徒歩で札所を回っていらっしゃいましたよ。
普段は運動不足なわたしですが、この日ばかりは"お遍路さん"になって、皆様と一緒に鹿野の中を歩いてまいりました！



龍雲寺（りょううんじ）さんの駐車場をスタートに、漢陽寺さんまでの道のりを歩いていきました。
ここ龍雲寺さんには、スタート地点である「１番」の札所をはじめ、全部で４つの札所があるんですよ！
ここから鹿野の各地区に分かれ、いよいよウォーキングのはじまりです。

ウォーキングの、はじまりはじまり

８８ヶ所すべてを一日で、しかも大人数で回るのは難しいです。
そんなわけで、ウォーキングコースが４つ設定され、それぞれに別れて巡礼を行うことになりました。
わたしはそのうち、渋川方面に向かうコースに参加させていただきました！

札所は道の側にあるとは限りません。こんな山道に入っていったりもしました。



札所によっては、中にお座敷があるところも……。



このコースは渋川の奥、米山（こめやま）から市街地に向けて戻ってくるような形でウォーキングをしました。渋川には全部で１４ヶ所ほど、札所があるんですね！

雨ということもあって、山の上にある札所まで行くのは大変！　足元が緩んでいて、ちょっと危ない道もありました。
山の上以外にも、民家のすぐそばにあったり、中には道路そばの壁をくりぬいて作られた札所、なんていうものもあってびっくりです！



札所を訪れた証「朱印帳」です。札所を訪れるたび、印鑑が増えていくんですよ♪
ちなみにこの朱印帳は、鹿野の特産品である「山代和紙」を使用して作られています！

今回初めてこうした巡礼を行ったわけですが、とても良い時間を過ごせたように思います。
札所だけではなく、鹿野のきれいな自然を見ながらの道のりでしたよ♪

88ヶ所めぐり、復活の舞台裏

今回、この健康ウォーキングを主催されているのは鹿野の老人クラブである「輝きクラブ」です。
どうしてウォーキングで８８ヶ所めぐりなのか、会長の倉増（くらまし）悟（さとる）さんにお話をうかがいました！

この「８８ヶ所めぐりをしよう」という企画は前々から温め続けてきたものなのだそうです。
朱印帳や印鑑の製作など、たくさんの準備を終え、ついに開始することができた企画なんですよ。
また、こうしたウォーキングをもっとＰＲして、**いろいろなお店と一緒になりながら、鹿野を盛り上げていければいいですね**、と言われていました。
鹿野の地図を作ってたくさんの人がこの８８ヶ所、そして鹿野を訪れてくれるようになれば素敵ですね！
今回だけではなく、参加者の方が４つすべてのコースを回れるように、**あと３回は８８ヶ所めぐりをしたい**な、と言われていました。

皆様も、どんどん参加してくださいね♪







８８ヶ所めぐりのときには、地区の人が巡礼者を「ご接待」するのが通例なのだそうです。
わかりにくいところに案内札を立てたり、札所のかごにお接待のお菓子があったり、おにぎりを配っていただいたり！
地区の人のおもてなしの心を感じることができました。

お問い合わせ

このイベントに関するお問い合わせなどは、コアプラザかの内にある社会福祉協議会鹿野支部（TEL：０８３４－６８－２９９８）までお願いします。
お遍路さんしてみようかな？　という方、大歓迎です♪



　もう一つのイベントは、ウォーキングの翌日・２１日に行われた渋川ふれあいの家の竣工式です。

　この「渋川ふれあいの家」というのは、渋川小学校校舎の跡地に造られた**地区の交流・ふれあいの場であり、地元の農産物を加工するための加工場**としても使われる、渋川地区の拠点となる施設なんですよ。

　また、この建物の外装ですが、なんと**地元住民の方がペンキを塗っていたりする**んです。地元の方も建設に関係しているんですね！

　この場所が、集会場としても加工場としても、渋川地区の「家」となれるように、今後とも応援していきたいと思います！





　旧渋川小学校の建物はすべてが取り壊されたわけではありません。

　この建物は住民の手で多少の改築がされ、倉庫として現役でがんばっています！

　また、講堂もまだ取り壊されず残っています。

　残された小学校の建物も、有効に使われているんですね！

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 26 号～（平成 23 年 3 月 30 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第27号(平成23年4月18日発行)

三十三観音を訪ねて、龍雲寺





まだ少し風は冷たいですが、すっかり春めいてきましたね！

そんな４月のくちコミは、先月に引き続き鹿野の信仰を訪ね歩いてみることにしました。

先月取り上げた８８ヶ所めぐりは、弘法大師ゆかりの札所を巡るものでした。

今月取り上げるのは「三十三観音」を巡る巡礼です。

この「三十三」観音というのは、**観音菩薩が皆を救うため、相手に応じて「３３」の姿に変身することに由来している**んですよ。

今回歩いてみたのは、**８８ヶ所めぐりの一番札所もある龍雲寺（りょううんじ）さんの裏山にある三十三観音**です。

どんな場所なのか、さっそく行ってみることにしました！

ちなみに、この参道は京都にある南禅寺の管長で、**鹿野出身の中村文峰さんが私財を投じて作られたもの**なんですよ！　その道を通って、いざ参拝です。

歩いてみました、信仰の道



どんどん山をのぼっていきます。木の間から見える鹿野の町並みが、とても遠くに見えました。



狭い山道に、観音様が並んでいます。それほど間隔を空けないで次の観音様が見えますので、すぐに３３体すべてを回れますよ。



あっという間に最後、「三十三番」の観音様です。

時間で言えば、だいたい１０分か１５分ぐらいで一回りできるかな？　と思います。

皆さんも、ちょっと足を運んでみてはいかがですか？



参道途中にあるのが「一番」の観音様です。

三つ並んだうちの、一番右側の台座に「一番」の文字が彫られているんですよ。

参道をつくるひと

　今回、一緒に三十三観音を回ってお話を聞かせていただいたのは、今回の取材を持ちかけていただいた蔵永甫彦（くらながとしひこ）さんです。

　蔵永さんは地域の方と協力して、この参道を整備されていらっしゃいます。

　山の中の道ということもあって、参道は見上げるような巨木の間にあるんですが、途中まで整備された道は陽も当たって歩きやすい道でした。

　歩きやすく、みんなに親しまれる道ができれば、とても素敵ですね！



　参道を見上げると、こんな巨木がずらり……こうした木々の中に、観音様は並んでいらっしゃいました。



　まだ未整備の部分は、こんな感じの道になっています。まさに山道、ですね！

　また、蔵永さんいわく、こうした三十三観音などは鹿野の各地区に存在しているそうです。

　例えば大潮方面だと、極楽寺さんの周辺にも三十三観音があるらしいですし、中国地方全体に広がる「中国三十三観音霊場（**鹿野にも１５番札所があるんですよ！**）」というものもあるんですよ。

　８８ヶ所めぐりにしても、今回の三十三観音にしても、昔から様々な信仰の順路があって、語り継がれてきたことを感じさせられます。

　昔から受け継がれてきた信仰の道を、これから先にもずっと伝えていきたいですね！

被災地へ〝エール〟を送ろう！

マリンバとピアノの公開コンサート　　企画　鹿野婦人会

先月の３月１１日に、東北地方で起きた大地震。
一か月以上がすぎた今でも、まだまだ大変な状況が続いていますね。
そんな被災地を応援しようということで、鹿野婦人会さんが、総会後に、マリンバとピアノの公開コンサートを企画されました。
今回、コンサートでマリンバを演奏されるのは、下松市在住、自閉症の 22 歳

武居輝樹（たけすえ てるき）さん。**県学生音楽コンクールで銀賞を受賞したり、徳山の遠石会館でソロリサイタルを開かれたりする実力派**なんですよ。
コンサートには一般の方も入れますので、ぜひ足を運んでみてくださいね！

会場はこちら、豊鹿里パークの多目的ホールです！



マリンバって？
今回のコンサートで奏でられるマリンバというのは、マレットというばちを使って音を出す打楽器(木琴)の一種です。



ごあんない

日時：平成２３年４月１９日（火）　午後２時３０分　～　３時３０分
場所：豊鹿里パーク　センターハウス　多目的ホール
曲目は１，チキチキバンバン　　２，愛の夢　（リスト）　３，花　（滝廉太郎）
４，四季より「春」　（ヴィヴァルディ）５，ビリーブ　（杉本竜一）
６、ＪＵＰＩＴＥＲ　（ホルスト）
７、ふるさと　（岡野貞一）マリンバに合わせて　みんなで歌いましょう
ピアノ伴奏は、光市在住　赤坂佳美先生です。
＊会場にて被災地に送る義援金を集めます！　皆さんの気持ちを、ぜひ送ってあげてくださいね。

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 27 号～（平成 23 年 4 月 18 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第28号(平成23年5月20日発行)

筑紫さんの顕彰碑ができました！

日差しが強くなって、汗ばむ日も多くなってきましたね！　今月号のくちコミでは、そんな日差しに負けない熱いニュースを取り上げたいと思います。

きたる５月２２日に、清流通りに新しく完成した顕彰碑の除幕式が行われることになりました。タイトルにもある、筑紫歌都子（ちくしかつこ）さんという方の碑なのですが、この筑紫さんという方、どんな方なのかご存知でしょうか？　なかなか聞き覚えのない名前と思われる方も多いかと思います。

この筑紫さんという方は、福岡で活動されていた琴の名演奏家なんですよ。

日本全国だけに留まらず、海外にも 2,000 人を超える演奏家を育成されてこられたという、素晴らしい方でもあります。



清流通りの水車小屋から漢陽寺さん方面に少し歩いた場所が、顕彰碑のある場所です。今はまだシートがかけられていますが、２２日からはその姿をいつでも見られるようになりますよ！

そんな方の碑がなぜ鹿野に？　と思われるかと思います。

実はこの筑紫さん、**生まれは鹿野**なんですよ！

多感な十代の頃を鹿野で過ごされ、その後数多くの作曲や演奏活動を行われてきた筑紫さんも、この鹿野が生んだ偉大な方のお一人である、と言えると思います。

筑紫さんが生まれて百年以上が過ぎ、こうして碑が「ふるさと」である鹿野に作られることとなりました。

皆さんも、清流通りを散歩するときはそんなすごい方が鹿野にいたんだな、と思い出していただければ幸いです。

顕彰碑完成まで、その足跡

さて、そんな筑紫さんの碑が建てられることとなり、顕彰碑建立委員会の会長である、広本武生（ひろもと たけお）さんにお話をうかがってまいりました！

この建立委員会の活動は、去年の七月頃から始まります。周南市はもちろん、鹿野の団体である**二所山田神社（にしょやまだ）、漢陽寺（かんようじ）、龍雲寺（りょううんじ）、商工会、婦人会**と言ったたくさんの団体、そして**鹿野地区のたくさんの方が協力**して、今回の建立が実現したんですよ。

また、広本さんは筑紫さんの門下生の皆様が筑紫さんに寄せる思いに感動し、委員会の会長を引き受けられたそうです。この話を聞いて、筑紫さんは昭和 59 年にお亡くなりになられているんですが、**30 年近い月日がたってもなお慕われている方**なんだな、と感じることができました。

こうした碑の存在が鹿野のイメージアップにつながれば、とも話していただきました。「こうした碑は観光スポットになるかと思います。しかし、最初から観光のためにこうした物を作るのではありません。観光というものは、先人の偉業を形にして、それに自然とついてくるものなんです」というお言葉もいただきました。

鹿野にある長い歴史をしっかり受け継ぎ守っていくことも、忘れてはならない大事なことであると感じさせられた取材となりました。

式典ごあんない

日時：５月２２日（日）　＊当日は<u>１０：００より受付</u>です。
１０：３０～（除幕式典）　……清流通りにて
１２：１０～（記念演奏）　……コアプラザかのにて
＊記念演奏曲目
"月光幻想曲"　金澤歌光（琴）、神囿歌世子（フルート）
"幻を追うて"　筑紫純子（琴）
"流れ"　筑紫純子（第一琴）、宮本歌穂湖（十七弦）

ちなみにこの筑紫純子さんとは、今回顕彰碑が建立された<u>歌都子さんのお孫さん</u>に当たる方になります。子どもの頃から、音楽の才能を開花させた素晴らしい演奏家であり、作曲家の方なんですよ。
"三代目"となられる期待の演奏家の腕前を、どうぞ聴きにきてくださいね♪

なお、記念演奏会場には**<u>無料で入場</u>**できます！
お気軽に、会場に足を運んでいただければと思います。

津田先生の桜並木

すっかり今は葉桜になっていますが、鹿野小学校の横に桜並木が続いているのを見ていらっしゃった方もいるかと思います。

ところであの桜並木、どういういきさつであの場所にあるかご存知ですか？

あの桜は、鹿野小学校で歯科の校医をされていた、津田先生という方が植樹された桜の木なんですよ。

鹿野小学校が元々、今の鹿野総合支所にあったことを知っている方もいらっしゃるかと思います。その場所から移築され、現在の場所に小学校が移ったのですが、当時は小学校の周りは田んぼばかり。薬師さんの森はありましたが、**木陰もない場所だった**そうです。

この津田先生は、子どもが運動しても休むための木陰さえない小学校を見て、**校医を務めることで毎年もらえる報酬を使い、この桜を植樹された**んだそうです！



津田先生が校医をされていたのは戦時中の頃のお話ですから、その頃に植えられた桜……ということは、もう**樹齢７０年**を数えるほどになっているかと思います。

戦時中で、物資も乏しい時代に、子どもたちのためを思って私財を削り、植えられた桜の木は、左の写真の通り今年もきれいに花をつけていました。

子ども達のことを思って植えられたこの桜を、これからも大切にしていきたいですね！

校門横にあるこの木をご覧ください！

今の小学校の校舎ができるより前からこの場所に立つこの桜には、こんな逸話があったんですね。

桜を守っていきましょう！



今は道沿いにしか残っていないこの桜並木ですが、実は昔は、**小学校を囲むように植えられていた**という話も聞きました。

校舎などの建て替え、給食センターの建設など、施設が増えるたびに少しずつ桜は切り倒されてしまい、四方を囲んでいた桜はどんどん姿を消してしまったそうです。

今残っている道沿いの桜も、道路の拡張工事を行う際に切り倒してしまおう、という話も出ていたとのことです。

しかしながら、津田先生のご家族が**「どうしてもこの桜は残してほしい」**と訴えられ、今も道沿いにだけは桜が残ることとなりました。

こうした工事だけではなく、桜は生き物ですから、当然寿命があります。

今と同じ景色が何十年先に、同じように残っているとは言えないと思います。今を生きているわたし達が、桜並木がここにある理由をちゃんと知って、この桜をずっと守っていければいいですね。

実はこの桜並木の中には、**最近植えられた若い桜も混じっているん**ですよ。

今はまだ細い木でも、何十年か先には立派な桜になって、この並木道が残り続けてくれたらいいな、と思いました。

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 28 号～（平成 23 年 5 月 20 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第29号(平成23年6月23日発行)

10周年です！

劇団わ



今年もおなじみ「やまなみ人情シリーズ」で皆様をお待ちしております♪

６月もなかばをすぎ、毎日むし暑い日が続いていますね！　そんな６月の鹿野といえば、おなじみ劇団「わ」の公演があります。

なんと**１０周年を迎えた劇団「わ」**、今回の公演も素晴らしいものになっているのではないでしょうか？

「あっという間の１０年間でした。振り返ってみると、私たちの「わ」が結成されてから、今日のこの日を迎えるまで、たくさんの人に応援していただきました。キャストやスタッフだけでなく、公演を見にきてくださった皆様に支えていただいたように思います」と代表の亀谷三千代さんは言われていました。

今回の作品のテーマは「**親子の絆**」です。今週土曜日の夜は、公民館で劇団のすばらしい演劇を観賞してみませんか？

劇団「わ」第10回公演

約束



キャスト

鹿野屋旅館番頭　幸助：坂本良夫	旅館の仲居　君子：大平貴子
幸助の妻　勝子：亀谷三千代	哲夫の妹　佐知子：小西規子
鹿野屋旅館社長　哲夫：洞崎伸治	フーテン息子　賢一：安永武翔
哲夫の娘　恵美子：藤田智美	居酒屋の女　菊江：寺戸ひろみ
旅館の板前　武：一原大典	菊江の夫　周：野村邦幸

あらすじ

鹿野屋旅館の番頭・幸助は、25年前に行きつけだった居酒屋の女から自分の子どもを育ててほしいと頼まれる。幸助は子どもを預かる条件に、今後子どもとは二度と会わないという約束をさせた。

時は流れて平穏な日々を送っていた幸助の前に、ひと目子どもに会わせてほしいと女が訪ねてくる。そして幸助は……。



ごあんない

日時　：2011年6月25日（土）
開場　18：30
開演　19：00

入場料：無料

会場　：鹿野公民館２階講堂
今回は先着３００名様に劇団わ「オリジナル手ぬぐい」をプレゼントいたします！
会場へは、お早めにどうぞ♪

第２回開催です！

山代和紙と作家たち２０１１

さて、６月が終わって７月には、せんえつながら我々「町づくり応援団"えーる"」主催のイベントである**「山代和紙と作家たち２０１１」を開催いたします！**

鹿野に伝わる伝統工芸品「山代和紙（やましろわし）」を用いた作品展を行うことで、山代和紙の魅力・歴史を広く伝えようという目的で行うこの作品展、**第２回目の開催場所は旧大潮小学校校舎です！**

すでに廃校になってしばらく経った大潮小学校ですが、校舎はまだまだ健在。中に入ってみても、またすぐに学校として使えるんじゃないかな？　と思うほどしっかりとしていました。

そんな校舎に風を入れて、少しでも長く維持していきたい……そう思い、今回の作品展の会場として選ばせていただきました。

皆さんも、この機会にぜひ懐かしの木造校舎へと足を運んでくだされればと思います♪

逆井先生の紙芝居

今回の作品展のイベントの一つとして、山代和紙を使った紙芝居を行う予定です。

この紙芝居を読まれるのは、会場となる大潮小学校で勤務されていた逆井（さかさい）先生という方なんですよ！

現在はご退職され、様々な活動に関わっていらっしゃいます。今回の紙芝居も、先生が所属されている**「山口子どもの文化研究会」**が行っている活動の一つなんですよ。

そんな先生の紙芝居に、歴史ある木造校舎の中で童心に返って楽しんでみませんか？

昨年の和紙展

　第一回目の和紙展は、昨年の４月にコアプラザかのを会場として開催いたしました！

　延べ６００人以上のお客さんが訪れ、山代和紙の魅力と歴史、様々に使うことのできる可能性をお伝えできたかと思います。



↑会場は２階ロビーでしたが、**スロープ全体を使うほどたくさんの作品**をご提供いただき、会は大成功でした！



書道、絵画の他、**映像のスクリーン**として和紙を使ったり、**お面や人形**の材料に使ったり、様々な用途で和紙を使っていただきました！

　今年はどんな作品が集まるか、主催者としても今から楽しみです♪

ご あ ん な い

日時：7月15日（金） ～ 7月18日（祝）

10:00～17:00（18日のみ16:00まで）

17日（日）11:00～12:00、13:30～14:30には、元大潮小学校教諭・逆井先生による「鹿野の昔話」紙芝居も行います！

場所：旧大潮小学校

入場料：無料



会場でお待ちしております♪

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第29号～（平成23年6月23日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第30号(平成23年7月15日発行)

夏採れイチゴで創作料理！

皆さん、イチゴの季節はいつかご存知ですか？　ご存知の通り、寒くなる秋から冬にかけてがその季節ですね……ですが、そんなイチゴの中にも変り種がいるんです。

それが、このたび鹿野のとある企業が作っている**夏に採れるイチゴ**なんですよ。

今回、この夏イチゴを**鹿野の色々な飲食店で食べてもらおう**……そんな企画が動き始めています！

この企画によって、**鹿野の中はもちろん、鹿野の外からもたくさんの人が鹿野を訪れればいいですね**、と企画者の一人である商工会の福田さんは言われていました。

この夏企画をスタートに、**秋に第二弾、冬に第三弾**の企画も計画中なのだとか。

"おいしい鹿野"も、見逃せませんね！



参加店には、目印に**黄色いハンカチ**が出ています！

鹿野の緑の中で揺れるハンカチを見たら、是非立ち寄ってみてくださいね♪

夏採れいちご
創作スイーツ＆ドリンクの共演！

期間：

７月２２日（金）

～７月２５日（月）

加盟店は全部で７件！

期間中、鹿野の町をめぐってみてくださいね。

企画参加店一覧

大潮方面



喫茶　マルタ
（中心部から約 5 分）
営業　10:00～18:00
TEL：0834-68-4079
定休日：水・木



花＆喫茶　さくや
（中心部から約 10 分）
営業　10:00～18:00
TEL：0834-68-3396
定休日：火・水



カフェ　かつうら
（中心部から約 5 分）
営業　9:30～18:00
TEL：0834-68-0880
定休日：月・火

渋川方面



農家レストラン　たぬき
（中心部から約 10 分）
営業　10:00～17:00
TEL：0834-68-3818
定休日：月～木



長野山ロッジ
（中心部から渋川方面へ約 30 分）
営業　8:00～17:00
TEL：0834-68-3481
無休（12 月～3 月休業）

中心部



手打ちうどん・天婦羅　はなどり
（活鮮ストアーよこ）
営業　11:20～14:00/17:00～21:00
TEL：　0834-68-0232
定休日：日・祝
（企画中日曜日はスイーツのみ）

金峰方面



農家レストラン　金峰の郷
（大向より約 5 分）
営業　12:00～17:00
TEL：0834-68-4700
完全予約制（定休日：水・木）

石英ガラスと網代保存会



会場はこちら、おなじみの漢陽寺です！
石英ガラス作品で、由緒正しいお寺がおしゃれに変身しちゃいますよ♪

皆さん、石英ガラスって何かご存知ですか？　石英、つまり水晶のことなんですが、その水晶を原料にしたガラスのことなんです。

その石英ガラスを使ったデザインコンテストが、この鹿野で開かれることになりました！

アクセサリーや日用品などのデザインを公募して、会場に選ばれた漢陽寺（かんようじ）でその審査が行われるんですよ。

入選した作品は鹿野の企業である周南クオーツさんによって製作され、１２月に漢陽寺にて展示されるとのことです。

あと数日で行われるイベントです。きれいな石英ガラスの作品を、皆さんも見てみませんか？

鹿野クオーツガラスエキシビジョン 2011

日時　7月17日（日）18:30～20:30
会場　**漢陽寺**

ちなみに当日には二所山田神社のライトアップや「**網代保存会**（あじろ）」の皆さんによって、清流通りから漢陽寺の中まで、なんと**2000本以上の青竹の灯篭**が置かれるとか！　ガラスだけでなく、竹を使った"作品"が清流通りの夜道を明るく照らしてくれますよ。



青竹灯篭は、１７日、夜８時頃からの点灯になるそうです。皆さん、お楽しみに♪

その網代保存会の晴れ舞台は、おなじみ**7月３０日の天神祭**です。

人間より大きな車輪を持つ巨大な網代を押し合う勇壮な"裸坊"たちの様子を、是非ご覧になってくださいね！

網代の出番は、7月30日（土）19：00頃からの予定です。
祭の夜は、網代を見て盛り上がりましょう！

“宿入奴”を見にきませんか？



かつての「宿入奴」の様子です。
鹿野の町並みも、今とずいぶん違いますね。

天神祭に伴う催しは網代だけではありません。この「宿入奴（しゅくいりやっこ）」とは、明治２０年頃に堤（つつみ）・石ヶ谷（いしがだに）地区の有志が、二所山田神社境内にある**菅原神社に奉納するために始まり、今に引き継がれている行事なんですよ。**昭和４２年頃、後継者の育成を図るために１０人の有志で結成された保存会は、現在「堤」「柏原（かしわばら）」「美保（みほ）」「石ヶ谷」地区の住民と有志によって成り立っています。

きらら博にて披露された「宿入奴」の様子です。



「宿入奴」は、四つの自治体が装束を着て町を練り歩くもので、足軽、弓持ちや馬に乗る殿様役などなど、色々な役があるんですよ。

わたしも以前宿入奴に参加したことがあります。足軽役で、ただ歩くだけの役だったんですが、これがけっこうきついんです。

かつぐ鉄砲は、**実際に使われていた本物の火縄銃**なので、これがかなり重い！

刀の重みで袴が下がりますし、全身しっかりと服を着込んでいるので汗だくになります。

ただ歩くだけなのに、本当に大変！

宿入奴は堤公民館を出発して、坂本酒店さん前を通り、町の中をねり歩いていきます！

夕方ごろに行いますので、是非行列の様子を見てみてくださいね♪

まめちしき

「宿入奴」とは、元々**参勤交代で「宿」場に「入」る儀式**として行われたものなのだそうです。

防府市の「右田（うた）毛利家」から、実際に儀式で使われていた道具を購入し、様式を習って行われています。昔は、参勤交代のたびにこうした儀式が行われていたんですね！

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 30 号～（平成 23 年 7 月 15 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第31号(平成23年8月20日発行)

逆井先生の講演会が開かれます！

８日に立秋になって、暦の上では秋を迎えたとはいえ、まだまだ暑い日が続いていますね！　夏バテしないように、がんばっていきたいですね。

さて、先月「えーる」でイベント会場として使わせていただいた大潮小学校ですが、今月はこの小学校の講堂を会場にしたイベントが開かれます。

イベントの際に紙芝居を上演された「山口子どもの文化研究会」に所属していらっしゃる**逆井歌代(さかさい かよ)さん**が、小学校の講堂で講演会をされるんですよ。

大潮小学校で教頭をされていた逆井さんの講演の他、大潮のすばらしさや、赴任していた頃の思い出をお話いただけるそうです。

避暑をかねて、講演会の日は大潮小まで足を運んでみませんか？

講演会日程

日時：

8月20日　14:00～

場所：

大潮小学校講堂

入場料：

無料です！



会場はこちら、大潮小学校の講堂になります！
大潮小学校で教鞭を取られていた逆井先生のお話を聞きながら、懐かしい時代を思い出すのもいいですね♪

河村よし子さんの個展、開催中です♪

　実は今、新南陽の美術館で鹿野の作家さんが個展を開かれているんです。
　その作家さんは、当「くちコミ」でも何度か取材させていただいた、河村よし子さんです。平成元年から、ずっと版画を作ってこられた河村さんの作品は、初期から茅葺きの家を題材としてきているんですよ。

　どうして茅葺きの家を題材にしているんですか？　と質問してみました。
　河村さんいわく「版画の白と黒の世界を表現するのに、自分には茅葺きの家が一番合っている気がしたんですよ」とのこと。
　自分に合った題材を、ずっと表現し続けている姿はとてもすごいと思いました！

　皆さんも是非、こうした思いを持って作品を作られている河村さんの版画を、見に行ってみてくださいね♪



　こちらは、７月に行いました「山代和紙と作家たち２０１１」にて出展させていただいた河村さんの作品です！　**鹿野の８８ヶ所を版画にされたんですよ。**

河村よし子木版画展
白と黒の世界 ～茅葺きの家～

日時：
6 月 18 日～8 月 28 日
（好評開催中！）
9:30～17:00
（入館は 16:30 まで）

会場：
周南市郷土美術館
＊新南陽の永源山公園にある美術館です。

入場料：
一般：200 円、学生：100 円

　さる 6 月 18 日には、周南市美術博物館の館長さんと対談の形で作品の解説をされています。たくさんの美術ファンの方々が「おおー」とうなるような、すばらしいものでした♪



"本当の自然"がここにある　～鹿野の素敵な自然～

皆さん、カヤックというものをご存知ですか？
これは、両側に水かきのついた櫂で漕ぐカヌーのことを言います。アラスカやロシアといった、北方の寒い地方で発展してきた乗り物なんですよ。
今回、そのカヤックをこの鹿野で楽しんでいる方がいらっしゃると聞いて、取材をさせていただきました！

「鹿野はとても水がきれいでいいですね」……その言葉のとおりの、下の写真をご覧ください！　大潮を流れている川なのですが、水が澄んでとてもきれいです。
元々この方は山歩きなどで鹿野によく来られていたということですが、どうしてこの鹿野を選ばれたのでしょうか？　鹿野の魅力について、取材してみました。

その魅力とは、**"本当の自然"があること**ですね、と話していただきました。

大潮の周囲には昔からの広葉樹がたくさん残っていたり、川も護岸をせず自然そのままの岩肌があったりと、整備される前のありのままの自然があるんですよ、という言葉を聞いて考えてみると、確かにこの周辺は、秋になれば紅葉もきれいですし、川の両端も岩肌なんですよね。
もちろん完全に自然のままではないですけれど、鹿野にはたくさんの"自然"が残っているのが魅力なんですって。



春夏秋冬、一年中自然が楽しめる鹿野はとてもいい所ですね、ということで取材を終えさせていただきました。
この方は、カヤックを漕いで進めるというよりは、流れに任せてのんびりと川を楽しまれているようです。
時には自然を見ながら、ゆっくりする時間があってもいいな、と思いました！

取材をしている間に色々お話をさせていただいたのですが、そういえば最近川で泳いだりしていないなぁ、と思いました。
ちゃんと安全さえ確認できれば、深いところがあったり流れの速い場所があったり、川はなかなか楽しい遊び場です。
子どもの頃川遊びをしていたことを思い出せた取材にもなりました♪

笹船を作ってみませんか？

カヤックに乗るのは難しくても、こんな"船"はいかがですか？
昔、作られた思い出がある方も多いと思います"笹船"の作り方をご紹介しちゃいます♪

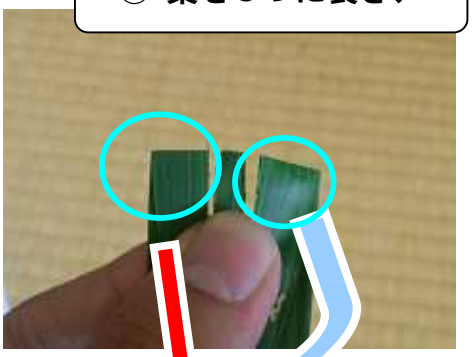


① 笹の葉を準備します

② 端を折り返して、



③ 葉を３つに裂き、



④ 左の葉のわっかに右の葉を入れて、



⑤ もう片端も同じように作ればできあがり！



慣れると色々な船が作れるようになるんですね！



"里地・里山の環境を考えるセミナー"に参加してみませんか？

なお、**8月27日、9月10日**の2回に分けて、豊鹿里（ゆかり）パークで鹿野の自然を学び、観察する催しが行われます。近くにあって当たり前になっている鹿野の自然。でも、よくよく見てみると……？　この機会に、今の鹿野の自然をもう一度見つめなおしてみませんか？　この"里地・里山の環境を考えるセミナー"は、**誰でも無料で参加**することができます。参加締め切りは**8月26日**となっていますので、以下のお問合せ先までお早めにどうぞ♪

お問合せ先：鹿野ネイチャークラブ　福本さん

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第31号～（平成23年8月20日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

第32号(平成23年9月20日発行)

アサギマダラがやってくる♪

　夜になるともう肌寒さを感じる季節ですね！　だんだんと秋が深まってくると、鹿野には今年も来客があるんです。

　それがこの"アサギマダラ"。なんと、**渡り鳥のように旅をするチョウ**なんですよ。

　このアサギマダラですが、下の写真にあるフジバカマという植物をめがけてやってくるんです。夏に生まれたアサギマダラは、秋になると南西諸島や台湾の辺りまで、鹿野から見れば**なんと1,500㎞近い距離を移動する**んですよ！小さな体なのに、渡り鳥もびっくりの距離ですね。



　こちらがアサギマダラです。きれいな色をしていますね♪
"あさぎ色"というのは、このアサギマダラの羽の色からきているらしいですよ！



　こちらが二所山田（にしょやまだ）神社の前にある池に植えられたフジバカマです。

　例年、アサギマダラは**１０月中旬頃**から鹿野にやってきます。その時期になったら、清流通りを散歩するときは、ちょっとこの場所で足を止めてみてもいいかもしれませんね！

絶滅危惧種・外来生物について知っていますか？
～里地・里山の環境を考えるセミナー～



よく見かけるアマガエルの他にも、色々なカエルが鹿野には生きています。
わたくしトノサマガエルの仲間はかなり数が減って、今ではとても珍しい存在になってしまいました。

８月２６日、９月１０日の２日間にわたって、豊鹿里パークを会場に行われました"里地・里山の環境を考えるセミナー"に参加してまいりました！
仕事の都合もありわたしは９月１０日のみの参加となりましたが、たくさんの興味深いお話を聞くことができました。
講義の後、会場の周りを散策して小さな生き物を観察していました。写真のカエルの他にも、オンブバッタ、コオロギ、蝶など……たくさんの命が生きていることを感じました！
皆さんも散歩の時、ちょっと足元に目を向けてみてくださいね。たくさんの生き物が、この鹿野にいることを感じられると思います♪



わたし達ニホンアカガエルも鹿野で暮らしています。今は卵を抱えたメスもたくさん見かけられる時期なんですよ。
わたし達小さな仲間たちが生きていける自然が、これからも残るといいな。

今度は徳地で！ 河村よし子木版画展

徳地にある重源の郷で、先月特集しました**河村よし子さんの個展が開かれています**！

９月いっぱいまで、郷の事務所"庄屋"の中にあるギャラリーで開催されているんですよ。
入郷料として**大人 500 円、子ども 300 円**がかかりますが、ギャラリー自体は無料です。
残り少なくなった９月のしめくくりに、徳地まで足を運んでみませんか？

秋もやります、飲食店の連携企画♪
"食べてみてみて!! ～鹿野の新米と秋の旬　里山の味食べ歩き4日間～"

　以前のくちコミでも特集しました、商工会の福田さんの"飲食店の連携企画"が、**この秋にも開催されます！**
　今度はイチゴではなく、皆さんおなじみの"新米"をテーマにした企画になっていますよ。
　福田さんに意気込みを語っていただきました。
「鹿野のお米はとてもおいしいので、鹿野の内外に米をＰＲしたいんです。みんなで鹿野を盛り上げながら、鹿野のファンをつくっていきたいですね。こうした企画を続けていって、鹿野をもっと元気にしたいです」
　鹿野の元気を、みんなでつくっていきましょう！



　お店に来てくれた感謝の意味で"**ありがトンボ**"を渡してください、と応援してくださっている須々万在住の今井さんをお招きして、トンボ作りの講習会が行われました！　講習会では、企画参加者の方々が和気あいあいとトンボを作られていましたよ♪

これが"ありがトンボ"です。前回の夏イチゴ企画の際にも、**1000 個以上のトンボ**が無料で配られたんですよ！

　企画に先がけて、９月２２日には講演会が開かれます！
　長門市で塩をはじめとした色々な作物を作られている「百姓庵」の井上さんという方をお招きしての講演会、どんな思いで自給自足の活動を続けられているのか、ちょっとだけ聞いてみませんか？

日時：**９月２２日（木）　１８：３０～**

場所：**コアプラザかの２階　大研修室**

講演会には**無料で誰でも**参加できます！

参加店舗一覧!!

＊印のついたお店は今回初参加です！
これからもどんどん輪が広がっていくといいですね♪

＊大潮方面＊

カフェ　マルタ　「梨のパイ」
カフェ　かつうら　「お米のドリンク」
花＆喫茶　さくや　「きのこうどん」
＊大潮田舎の店　「いなりとババロアのセットとくりごはん」

＊渋川方面＊

長野山ロッジ　「やまめの姿ずしとこんにゃくフルコース」
＊石船温泉　「本格かまど炊き御膳」
農家レストラン　たぬき　「サンマずしと秋の旬御膳」

＊中心部＊

はなどり　「天むす」
＊しゃくなげ　「わさびのくき入り茶漬けと豚肉まきおにぎり御膳」
大田屋　「お米の販売」
＊周平堂（しゅうへいどう）　「おむすびケーキ」

＊金峰方面＊

農家レストラン　金峰の郷（みたけのさと）　「にゅうめんとキノコの御膳」

・メニューは出品予定品で実際と異なる可能性があります。ご了承ください。

食べてみてみて！！
～鹿野の新米と秋の旬　里山の味食べ歩き４日間～

９月３０日（金）　～　１０月３日（月）　４日間の開催です！

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ　第 32 号～（平成 23 年 9 月 20 日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

33号

平成２３年１０月３１日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

楽しく、熱い、陶芸の火

～鹿野陶芸クラブの活動風景～

夜ともなるとめっきり寒くなって、もうすっかり秋、もしかすると冬のような気さえしてきますね！

そんな秋には色々あります。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋……そんな色々な「秋」の中から、今月号は「**芸術の秋**」を取り上げてみたいと思います。

今回取材させていただいたのは鹿野陶芸クラブの田中さん。陶芸クラブについてのお話を聞かせていただきました。

現在、鹿野陶芸クラブは16人ほどで活動しています。とはいえ、一堂に会して活動するのではなく、**自分がやれるときに、自由にろくろを回して作品を作る**、そんな感じなんですよ。

もちろん最初は何もわからないですから、毎月第一日曜に陶芸の先生がやって来たときにやり方を教わることもできます。その時も、先生が「これを作りなさい」と言うのではなく、**生徒の「こんな物を作りたいんだけど……」という気持ちに先生が応える**、そんな雰囲気なんですよ。

また、年齢層も幅広く、**下は20代、上はなんと95歳**まで、本当に色々な世代の人が一緒に陶芸を楽しんでいます。最年長の方は、ご自分でコツコツと作られた作品を、家の風呂焚きついでに焼いていたりもしているんだそうです。

「この陶芸クラブは、**楽しくみんなで陶芸を作っていこう**と思っています」という田中さんの言葉通り、あれこれと堅苦しく活動するのではなく、楽しく活動している感じがしました！

そんな田中さんが語る陶芸の醍醐味は、「**自分の作ったものが炎の中で焼き上がること**」だそうです。

土が焼き物になる、そんな瞬間を見てみたいですね♪



この覗き穴から火の色が見えます。
まだまだ赤い、低温の炎ですね。

陶芸ってどうやるの？

① 土を練ります。
② ろくろや手を使った”手びねり”で形を作っていきます。
③ 乾燥させた後、「素焼き」を行います。
約800℃ぐらいの温度で焼きあげるんですよ。
④ 石などの粉を混ぜて作ったうわぐすりを塗って「本焼き」を行い完成です！

わたしの取材中は窯の温度が500℃もありましたが、これはまだまだ序の口。最終的には、**窯の温度は1000℃を超える**んだそうですよ！

炎は高温になると真っ白く染まり、温度が1000℃を超えると窯の穴から火を噴くのだとか！

自由だけど、一人じゃないんです

自由に、自分の時間で陶芸を作る……と言っても、もちろん皆で集まることがないわけではありません。

陶芸の先生が来られる日の他にも、この前初の試みとして**バーベキュー**をしたりもしているんです！

もちろんそこで話す内容も、**陶芸の事。陶芸の話題を交えながら、技術の交換会**のようなこともされているんですよ。

また、クラブでは若い世代の方の参加も待っています、というお話でした。

こんな集まりもあるんです。

一緒に盛り上がって、陶芸クラブだけでなく、鹿野の町にも若い力で活気が出るといいですね、というお話をいただきました。

陶芸クラブの作品は、先日行われました**ふるさとまつりなど**で販売されています。

見かけたら、是非手にとってみてくださいね。



こちらが陶芸の窯になります。クラブの発起人でもある蔵永甫彦（くらながとしひこ）さんのお宅に設置されたこの窯の前で取材をさせていただきました。

使い込むほど窯は古くなりますし、サビを落としたりして手入れする事が大事なんだそうです！

ただ焼き上げればいい、というものでもないんですね。

教室に参加してみませんか？

陶芸クラブにご興味がある方は、この機会に是非参加してみませんか？

最初は誰しも同じ、一からのスタートです。

楽しく、自分のペースで、陶芸に携わってみませんか？

また、クラブでは体験教室も行っています。形作りから素焼きと、実際の工程がどんな感じなのかを体験してみるのもいいですね！

お問合せは下記ご連絡先までどうぞ。

0834-68-4870

（田中さん宅）

芸術の秋に何か新しいこと、始めてみませんか？

好きこそものの上手なれ

漢陽寺・杉村洋子さんと陶芸

今回、初期の陶芸教室に講師として携わっておられた、漢陽寺の杉村洋子さんにお話をうかがうことができました。

陶芸暦**なんと20年**にもなるという杉村さんは、誰かに師事したというわけではなく、個人の趣味として陶芸を始められたそうです。

お忙しい中、家で何かできることはないだろうか……と始められたのが陶芸だったそうですよ。

一人でコツコツと陶芸を作られていた杉村さんに、陶芸教室の発起人でもある蔵永さんがお話を持ちかけ、講師として招かれたそうです。

ちなみに陶芸と言ってすぐ思いつくお茶碗ですが、いきなり初心者が作ろうとしても、なかなかうまくいかないものなんだそうです。うまくできたつもりでも、いざ焼きあがると灰皿のように平らになってしまうのだとか。陶芸教室でも、最初はおひな様など人形を作られていたそうです。

そんな杉村さんに「鹿野の土」についてお聞きしました。

漢陽寺の本堂から鹿野小の辺りまで、主に大地庵にある粘土が原料になるのですが、**この土はとてもいい**ものですね、というお話でした。

萩と唐津の土を合わせたような質感を持つ鹿野の土を使ってみて、杉村さんが驚かれたのは、掘り出したそのままの土が焼き物として形になることでした。

普通、土というのは水を混ぜ、石などを取り除くなどの過程を経て陶芸に使えるものなのですが、**鹿野の土は掘り立てでもすぐ器としての形を作ることができた**のだそうです。思わず鹿野の土100%の作品を10個も作られたほどだとか。

杉村さん曰く、陶芸を続けてこられたのはひとえに「**好きだから**」だそうです。自分が好きで取り組むからこそ、上達もするし長続きするものなんですね。

"好きこそものの上手なれ"という言葉が、ぴったり当てはまる気がしました。



この器は「鹿野の土１００%」でできています！　底の色は、鹿野の土の色そのものなんです。なんと、南禅寺管長で鹿野出身の中村文峰様が書かれた文字入りなんですよ！

陶芸教室のあゆみ

平成8年
　4月1日　発足。公民館にて活動。
（発足当時の生徒は約30名）
平成9年
　5月　旧生産センターに拠点変更
　8月　電動ろくろを購入
平成11年
　電気窯を購入
平成20年
　旧母子センターに拠点変更

アサギマダラがやってきています!!

あなたも蝶を見に行きませんか？



先月号で特集しました渡り”蝶”ことアサギマダラが今年も鹿野にやってまいりました！　すでにフジバカマの周辺を飛んでいる姿を見かけた人もたくさんいるんですよ。

　昼間になると、カメラを構えた方々がその姿を撮りに来ていたりもするんです。　皆さんも是非、散歩がてらに蝶を見に来てくださいね♪

ふわりふわり、といった感じに宙を漂うアサギマダラ。以前よりちらほらと来ているよ、というお話はうかがっていたのですが、ついに実物を見ることができました！

　秋の七草の一つでもあるフジバカマ（右写真）のほか、ワレモコウ、サラシナショウマなど、秋の山野草も見ることができるんですよ。

　お暇があったら是非見に行ってみてくださいね！



＊先月号で掲載したフジバカマの写真に誤りがありました。
　正しいフジバカマの写真は上のものになります。大変失礼いたしました。

～くちコミ　３３号～（平成23年10月31日発行）
町づくり応援団”えーる”HP：http://straynotes.net/
ウェブ検索単語は「StrayNotes」か「町づくり応援団”えーる”」でどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

34号

平成２３年１１月２６日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

晩秋を彩る秘密尾の祭り
氷見神社の例大祭

毎日の冷え込みも強くなって、もう秋というより冬？と言った毎日ですね。皆様はお体に変わりなく過ごされていますでしょうか。

さて、昨年、１１月に秋祭りが行われますよ、という特集をしたかと思います。その秋祭りから少し間を空けた２３日、秘密尾の氷見(ひみ)神社でお祭りが開かれたんですよ！

この氷見神社と思われる神社の存在は、**なんと平安時代前半の歴史書にも記されています**。それほど長い歴史を持つ神社なんですね。

写真を撮りました若宮の他、山の中腹の中宮、山全体を上宮として、”露嶋(つゆしま)宮”と呼ばれているこの神社は、実は**「みそぎ」の行場としても有名**なんです。

明治時代にみそぎの権威者である川面(かわづら)さんという方がここにこもり、神道の修行法を編み出したといわれています。今でもここは、県下の神官たちのみそぎ行場として使われているそうですよ。

本当にたくさんの歴史が、この神社にはあることを感じました。

鹿野の中でも奥地ではありますが、荘厳な杜に囲まれた神社を、是非見てみてくださいね。



二ヶ所のお宮の一つである「中宮」は、5年後に御建て替えである「遷宮祭」が斎行されます。御社地が二つあって、そのお宮を交互に建て替える神社は県下に三社ありましたが、**現在でも建て替えが続いているのはこの氷見神社だけ**なんですよ。

中宮は山の中腹にあり、非常に足場の悪い所にあります。しかし、20年前の遷宮祭の時は、すでに過疎化が始まっていたにも関わらず「**我々の代でお建て替えを途絶えさせることはできない**」と地区から他所に出ていた若い氏子の方々が協力し、苦労の末に遷宮を完成させましたんですよ。

この神社がいかに地域の方に大事にされているかを感じることができる話でした！

神社散策してみました

さて、実際にみそぎの地とも言われる神社へと足を運んでみることにしました。

非常に急で長い石段を上り、ようやくたどりついた境内はとても静かで、まさに神域といった雰囲気です。

この神秘的な雰囲気の中、２月に「元旦祭」、４月に「春大祭」「祈年祭」、７月に「夏祭」、そして１１月の「秋季例大祭」「新嘗祭」と四季折々の祭りが行われるんですよ。





左の写真は、23日の例大祭の様子です。

天気はあまりよくありませんでしたが、いつも静かな境内にはたくさんの方がお参りにいらっしゃっていました！

秘密尾以外の地区にお住まいの方も参られていて、とてもにぎやかな時間でした。

たとえその地区には住んでいなくても、お祭りの時にはみんなが集まる神社は、とても素晴らしい交流を生み出すものだと思います。

これからも大事にしていきたいですね♪

社叢は、指定文化財なんです

氷見神社の杜は山口県の指定文化財でもある貴重な杜です。

上に上がって行くにつれ、シイノキ→ウラジロガシ・ハイノキ→ブナ・ミズナラ→アカマツとどんどん生えている木が変わってきます。あの悠仁さまのお印（シンボルマーク）であり、県内でもあまり見られない貴重なコウヤマキも、この場所には生育しています。

また、県内指定の杜の中で、標高1000m前後のブナ林があったり、暖地性のシイノキが垂直状態で観察できるのはここだけなんですよ。

標高が高くなるにつれて木々の様子が変わるこの氷見神社の杜は、まさに自然の状態そのものの様子を見て取れる貴重な文化財なんですよ。

古い伝統のある神社はもちろん、こうした自然環境も大事に守っていきたいですね！



鹿野の陶芸探訪

鹿野に「瓦」があった？

その１　大潮地区

　先月で取り上げました陶芸クラブの特集ですが、実は昔から鹿野ではある焼き物が作られていました。鹿野の土を使って作られていたものは、屋根の上にもたくさん乗っているんです。

　そう、**瓦**ですね。

　鹿野瓦は、明治時代に有名な石州瓦の製法を取り入れるなどして大きく発展し、**大正になる頃には鹿野の一大産業として大きく発展していた**ようです！

　今でこそ廃れてしまい、窯もなくなってしまいましたが、あちこちに窯の跡があるそうです。

　その足あとを、何号かに分けてたどってみたいと思います。





　この写真の建物は、一見なんでもない建物ですが、なんとこの瓦は話題の片山瓦なのだそうです！　今も片山瓦は現役でがんばっているんですね。

　第一回目は、鹿野の北部・**大潮**からたどってみたいと思います。

　上の写真は、片山自治会のある山の付近の写真です。今はすっかり木に覆われてしまっていますが、この辺りに窯があったようです。

　この地区で焼かれていた瓦は、地区の名前を取って”**片山瓦**”と呼ばれていたそうですよ。

　昔は、今のように油を使って窯に火を入れていたわけではありません。薪などを使って人の目で見ながらの温度調節を行っていたため、場合によっては温度が低くなってしまい瓦がきれいにできず、反り返ってしまった二級品もできてしまっていたとか。

　今でこそ温度計もあり、機械もありますが、昔の方の苦労がしのばれるお話を聞くことができました。

今年も開催！

冬花火「銀嶺の舞」2011

花火と光と音楽のコラボレーション

　すっかり鹿野の冬の風物詩として定着してきた”冬花火”が、今年も開催されます！　16:00からのバザーをはじめ、ステージイベントや大抽選会なども花火を盛り上げてくれますよ。

　昨年わたしも会場で花火を見ましたが、花火だけではなく煙や音楽、光線を使ったたくさんの演出が花火を盛り上げていて、とても素敵な時間を過ごせました。

　冬は空気が澄んでいて、とてもきれいに花火が映える季節でもあります。寒い中ですが、是非会場に足を運んでみてくださいね！

日時：平成23年12月10日（土）

場所：鹿野総合体育館周辺

当日200インチの大画面を持つ大型LED車で映す「３行ラブレター」も募集中です！
伝えたいけれど伝えられない気持ちを、思い切って伝えてみませんか？
応募は下記お問合せ先、鹿野総合支所産業土木課までお願いします。
締切は**平成２３年１１月３０日（水）**。お早めにどうぞ♪
実行委員会のブログ（http://huyuhana-shunan2011.seesaa.net/）も更新中です！

お問合せ先

周南市役所鹿野総合支所産業土木課　0834-68-2335

～くちコミ　34号～（平成23年11月26日発行）
町づくり応援団”えーる”HP：http://straynotes.net/
ウェブ検索単語は「StrayNotes」か「町づくり応援団”えーる”」でどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

35号

平成２３年１２月９日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

鹿野中がんばってます！

女子バレー・竹本未夢さんの活躍



サンマート前の交差点にも、大きな横断幕が出ていますよ！

ついに今年も最後の一ヶ月を迎えましたね！　皆様年越しの準備をそろそろ始めようか……なんて思っている頃でしょうか。

さて、今回はとても大きなニュースから始めたいと思います！

現在鹿野中学校の２年生である竹本未夢（みゆう）さんが、**ジュニアオリンピックのバレーボール選手として、周南市の中から選ばれた**そうですよ。

”オリンピック”と名前がつくとおり、あの４年に一度行われるオリンピックの日本での窓口であるJOCが後援となって行われています。

毎年12月下旬から4日間、大阪府立体育館などで行われているこの大会は「JOCジュニアオリンピックカップ」と称して開催され、**未来のオリンピック選手の発掘の場**としても注目されているとか！

こんな大会に選ばれるなんて、そうそうないことだと思います。

竹本さんはこの大会の、バレーボールの選手として選ばれました。

鹿野の中から、未来のオリンピック選手が生まれるかもしれませんね！

竹本未夢さんから一言

まさか、山口県代表に選ばれるとは思っていませんでしたが、選ばれた以上日本一を目指して全力で頑張ります。応援よろしくお願いします。

― 是非、大会での活躍を期待しています！

心にも宝を！

宝くじ当選祈願祭

12月11日（日）　10:00～

宝作神社（石船温泉より道なりに約1km）にて。
問合せ：鹿野ファミリーランド（0834-68-3271）
農家レストランたぬき（0834-68-3818）



年末ドリームジャンボ宝くじで一等の組違いが出た！　という本当にご利益のあるこの宝作（ほうさく）神社が、今年も皆様の宝くじが当たるよう祈願祭を行います！　この週末と時間は迫っていますが、お買い求めされた宝くじを持って是非神社の祈願祭にお越しください。今度は、一等の組違いではなくて、一等が当たるかもしれませんよ！

祈願祭をすると宝くじだけではなく**"心の宝"も豊かになる**ことと思います。11日は是非神社へお越しください♪

冬の寒さも、みんなでふきとばそう！

12月のイベント特集

なお、今年最後の一日である大晦日の夜、年越しの行事が二所山田神社で行われます。

大太鼓を使っての年越しのカウントダウンやもちまきなど、年越しを祝う行事が行われていますが、今年もそうしたイベントが行われますよ！

「鹿野の人がこの一年を元気に過ごせますように」という願いを込めて行われるこのイベントには、あの劇団「わ」のメンバーも協力して行う予定となっています。

色々なことがあった平成23年を振り返りながら、皆で新しい年を迎えませんか？



1月1日　00:00～

二所山田神社にて。
お問合せ：神社宮司宅（0834-68-3860）

一年のしめくくりに

大晦日イベント

鹿野市

鹿野の町中は「上市（かみいち）」「下市（しもいち）」という名前がついているのは皆さんもご存知のとおりだと思います。

ところで、この名前の由来はご存知ですか？　それが今回取り上げさせていただきました**「鹿野市（かのいち）」**に関係しています！

江戸時代に岩崎想左衛門（いわさきそうざえもん）が作り上げた潮音洞（ちょうおんどう）の影響は、農業だけではありませんでした。昔の鹿野市は現在の**消防署、ゆめの台周辺にあたる「古市（ふるいち）」**でした。潮音洞ができ、そこからの用水路に沿って新しい「市」が誕生します。その「市」の北方が「上市」、南方が「下市」になったんですよ。



写真は岩崎家住宅（上）と、かつての鹿野の町並み（下）の様子です。このような時代があって、今があるんですね！



提供：古民家ギャラリー「くつろぎ」

潮音洞の水路に沿って広がっていった鹿野市の町並みで特徴的なのは、**本屋と長屋を１セットにして建てる建築**にあります。これは、市のたびに訪れる商人を長屋に滞在させることで、鹿野に滞在費としてお金を落とすしくみを作っていたんですよ。

そして誇るべきことは、**潮音洞や鹿野市は住民の力で創り、発展していった**というところにあります。**どうにかして鹿野の町を賑やかにできないだろうか、経済が潤わないだろうか**……そう考えていた先人の足あとが、今の「上市」「下市」にあるんですね！

今後も何回かにわけて、こうした鹿野の歴史を追っていこうと思います。

今　と　昔



　そんな鹿野市の「今」はどうなっているでしょうか？　お店も以前に比べれば少なくなってしまって……と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、そんな鹿野の町中からとても元気な話題が飛び込んできました！

　それが今回オープンした**古民家ギャラリー「くつろぎ」**です。

　鹿野郵便局の裏通り、青木酒造さんの隣りにあるこの古民家をお持ちなのは日坂隆（ひさかたかし）さん。このお宅をギャラリーにしようという話が出たのは、日坂さんが所属されている鹿野図書館絵画サークルの中での談話だったそうです。サークルだけではなく、**鹿野の人にとって作品の「発表の場」がない、そんな現状をどうにかできないだろうか**という話の中で、古民家を使って何かできないだろうか、というお話が出てきたそうです。それから民家の改装、オープンとこぎつけたんですよ！

　現在、「くつろぎ」では**鹿野図書館絵画サークルの展覧会**が催されています。冬の間は一旦ギャラリーを閉められるそうですが、また春から再開の予定だとか。鹿野の町中で、**色々な人が集まり、作品を発表できるような場になっていけばいいな**、と思います！

開館時間：

12月24日（土）までの
金・土・日の11:00～15:00

　最終日（24日）には、鹿野で何度もライブをされている毛利治郎さんのコンサートが開催されます。

　コーヒーとワッフルがついて300円で、**14:00～15:00開催予定**です。是非来てくださいね♪



～くちコミ　35号～（平成23年12月9日発行）
町づくり応援団”えーる”HP：http://straynotes.net/
ウェブ検索単語は「StrayNotes」か「町づくり応援団”えーる”」でどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ 号外！

平成23年6月16日発行

筑紫歌都子さん顕彰碑 除幕式がありました



序幕前の顕彰碑

するする……



おひろめです！



さる５月２２日、先月の「くちコミ」で取り上げました筑紫歌都子さんの顕彰碑の除幕式が行われました！　あいにくの曇り空でしたが、**全国からなんと 100 人余りの方々が参加**され、つつがなく式は終了となりました。

その後コアプラザかのにて演奏会も催され、すばらしい演奏を聞くことができました！

清流通りにある碑を、是非また見に来てくださいね♪

～くちコミ　号外～（平成２３年６月１６日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ 号外！

平成23年7月8日発行

開催間近！

山代和紙と作家たち 2011

さて、翌週は当団体「町づくり応援団"えーる"」が主催する山代和紙の作品展を開催いたします！

先月のくちコミでも取り上げましたとおり、今回は旧大潮小学校の校舎を会場にして行います。

メインは山代和紙の作品展示ですが、右に記載したように**イベントも行う予定**です。

たくさんの人たち、そして和紙、小学校といった鹿野の歴史を集めて開催いたします和紙展。連休中は、懐かしの大潮小学校へ是非足を運んでみてくださいね。

ごあんない

日時：7月15日（金） ～ 7月18日（月・祝）
10:00～17:00（18日のみ16:00まで）

右記イベント以外に山代和紙製品、駄菓子販売、かんたん版画体験会なども随時行います。

開催予定イベント

元大潮小学校教諭他による紙芝居
7月17日（日）
11:00～12:00、13:00～14:30

「子どもの文化研究会」、「ななはた探訪会」のメンバーによる紙芝居を上演いたします。

なお、紙芝居の際に**駄菓子を無料で配布**いたします。

童心に帰って、お菓子と一緒に紙芝居を楽しんでみませんか？

今年もやってきました!

奥芝洋介トークライブ



会場はこちら、おなじみのコアプラザかの。
是非、お越しくださいませ。

昨年の６月にも行われました、北海道の路上詩人・**奥芝洋介**（おくしばようすけ）さんによるトークライブが、今年も開催されます。

今回はカンボジアでの井戸掘り体験、そして３月に起きた大地震の事などをお話される予定ですよ。

昨年と同じく書き下ろしのパフォーマンスや、**鹿野の青年団長である隅誠二郎**（すみせいじろう）**さん**によるトークショーなども企画されています。

暑さも厳しい毎日ですが、ちょっと足を運んでみませんか？

奥芝洋介　東日本チャリティトークライブ in 鹿野

日時：７月１０日（日）　１３：００～
会場：コアプラザかの　２階大会議室
入場料：無料

１３：３０より書き下ろしパフォーマンス（先着順）もございます！

世界で一つだけ、あなただけに送られる言葉をプレゼント♪

～くちコミ　号外～（平成２３年７月８日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ 号外！

平成23年7月28日発行

竹灯ろうに灯がともりました。



二所山田神社（にしょやまだ）の境内から漢陽寺の中庭まで、実に 2000 本以上の竹灯ろうがずらりと並べられました。

竹灯ろうの火と、ライトアップされた神社の境内がとても素敵でしたよ。

この 7 月は、鹿野で色々なイベントがありました！

まずは 17 日に行われました、鹿野クオーツガラシエキシビジョン。

それに伴い、網代（あじろ）保存会の皆様による竹灯ろうの設置、二所山田神社のライトアップが行われました。

鹿野の暗い夜に、竹灯ろうの火が並んでいる様子はとても神秘的で、思わずどきどきしてしまいました。



ちなみにこの灯ろうは、7 月 30 日の天神祭でも使用される予定です。

30 日は **19:00 頃からの点灯を予定**しています。

祭の夜も、この灯ろうをお楽しみください♪

おかげさまで大盛況！



7月15日から18日まで、町づくり応援団"えーる"主催による「**山代和紙と作家たち 2011**」が開催されました。

鹿野の伝統工芸品である「山代和紙（やましろ）」のＰＲと、廃校となってしまった大潮小学校の校舎を利用したい、という目的に、たくさんの皆様に賛同をいただき開催することができました。

無事に終了することができたのも、ひとえに皆様のご協力のたまものだと思います。

この場を借りて、あつく御礼申し上げます。



準備段階から、作品を出展していただいた賛同者の方にお手伝いいただき、校舎内の掃除を行いました。

長く使われておらず埃のたまっていた校舎が、ぴかぴかに磨かれてとてもきれいになりましたよ♪

17日には、「山口子どもの文化研究会」「ななはた探訪会」の皆様による紙芝居も行いました。

午前・午後の上演に、**延べ54名**のご来場をいただくことができました。





四日間の開催で、**延べ307名**のご来場をいただき、大盛況のうちに幕を下ろすことができました。

えーるでは、今後も様々な形で廃校利用や伝統文化の紹介などを続けていければと思います！

夏イチゴ料理の食べ歩きをしてきました！

続いて 7 月 22 日から 25 日にかけては、夏に採れるイチゴを利用した創作料理企画があり、食べ歩きをしてまいりました♪　**参加店の証である黄色い旗**が鹿野のあちこちにあったのを見ていらっしゃった方も多いかと思います。

また、二所山田神社さんより、鹿野が**全国随一の生産量を誇る「おみくじ」**が提供され、料理と一緒に配られました。

わたしのもらったおみくじは吉ばっかり……大吉とは縁がありませんでした。残念！





「カフェ　かつうら」さんの**「イチゴのミルクシェーク」**です。甘いシェークと、そのまま飾った実のすっぱさがとてもいい感じでした。

「マルタ」さんの**「夏イチゴのパフェ」**は、アイスクリームも入ってとても冷たくて夏にぴったりの味でした。





「花＆喫茶　さくや」さんは**「夏イチゴのフラッペ」**です。フラッペとは砕いた氷にお酒などをかけたお菓子です。

お酒はかかっていませんが、氷と上に乗った実がおいしい一品ですよ。

「はなどり」さんは、なんと**「イチゴアイスの天ぷら」**！　ドーナツのような生地にいちごアイスを包んで揚げたものですが、温かさ、冷たさ、すっぱさ、甘さ、色々な味が同時に楽しめるんですよ。







中身はこんな感じです。

「長野山ロッジ」さんは「イチゴかしわ大福」。かしわ餅のあんこと、すっぱいイチゴがおいしいです！

「たぬき」さんは「いちご寒天にストロベリーアイスクリームを添えて」というお名前でご提供。
　名前の通り、切った寒天が涼しげな色合いをして目でも楽しめます。





「金峰の郷（みたけのさと）」さんは「いちごゼリー」と「イチゴアイスクリーム」。どちらも時間をかけてすべて手作りされたものです。
　イチゴアイスは、甘さが少なく後味すっきり！　驚きの味でした。

　期間中、「大田屋」さんでは夏イチゴの販売も行っていました。
　とてもすっぱい味の夏イチゴは、暑さを吹き飛ばすような味でしたよ。





　また、この企画に賛同された須々万在住の今井さんから、食べにきてくれて「ありがトンボ」ということで手作りトンボが寄贈されました♪
合計で 1000 個近い手作りトンボが配られたんですよ。
　たくさんの応援と、皆さんのご来場で夏イチゴ企画も大盛況。発起人の福田さん、実は秋・冬にも色々な計画を練られているとか……？
　これからも、いろんなお楽しみが続きそうですね！

～くちコミ　号外～（平成２３年７月２８日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ 号外！

平成23年9月30日発行

国体に花を添えます♪　ちょるるおみくじ



　今年は山口国体ですね！　鹿野もハンドボールの会場となっていますので、準備の様子を見ていらっしゃる方も多いかと思います。
　その国体の開催に合わせて、鹿野が世界に誇る生産量を持つおみくじの配布が行われるんですよ。
　しかも、今回配られるおみくじのデザインは鹿野の小中学校の生徒さんが考えたものなんですよ！
　鹿野の子ども達が考えたおみくじは下記のとおり、二日間にわたって配布されます。
　国体に、こんな形でも鹿野の品物が役に立っているんですね！

　こちらがイベント中に配布される「ちょるるおみくじ」です！
　いつもとは一味違った生徒さんオリジナルのおみくじは、中の「～吉」までいつもと違ったものになっています！
　お近くに立ち寄ったときには、是非これを引いていってくださいね♪

おみくじ配布場所・日時

場所：ＪＲ徳山駅構内総合案内所

日時：10月1日（土）、2日（日）

9:00 ～ 17:00

～くちコミ　号外～（平成２３年９月３０日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

号外

平成２３年１０月２７日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

鹿野で国体競技がありました！

花でおもてなし♪ 鹿野総合体育館

皆さんは、１０月７日から８日にかけて、総合体育館で何があったかご存知ですか？

もしかすると、実際にその時会場にいらっしゃったかもしれませんね！　そう、山口国体の競技種目である、ハンドボールの大会が行われていたんです。

たくさんの人がボランティアとして参加され、選手の皆さんもきっと素敵な思い出を残すことができたんじゃないのかな？　と思いました！

会場には、鹿野地区の老人クラブの皆さんが心を込めて育てられたたくさんの花が並べられ、選手を出迎えていましたよ。また、会場には鹿野の特産品である山代和紙で作られた山口国体のマスコット・ちょるるもやってきていました。鹿野での競技は無事に終了いたしましたが、皆さんのご協力あってこその成功ではないかと思います！

たくさんの人で力を合わせて、また何かができるといいですね♪

国体に参加した皆様の、いろいろな声

「初めてのことで大変だったけれど、たくさんの人が鹿野にやってきてくれて嬉しかったです！」

「わたしたちの育てた花が、少しでも皆さんの目にとまってくれていれば嬉しいです」

「選手の皆さんの一生懸命さにとても感動しました！」

……みなさんの力で、素晴らしい国体になったと思います！